

一 般 質 問 通 告 表

平成29年第2回始良市議会定例会 < 6月21日(水) 午前10時 ~ >

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 法元 隆男	1. 公的賃貸住宅の適切な管理運営について	<p>市は、住宅確保要配慮者に公的賃貸住宅（市営住宅等）を供給しているが、次について問う。</p> <p>(1) 現在の供給戸数と入居率は何パーセントか。</p> <p>(2) 家賃の収納率は何パーセントか。</p> <p>(3) 共益費について、市の管轄ではないが、未納が問題になっている。どのように考えるか。</p> <p>(4) 公営住宅の今後の計画と課題は何か。</p>	市 長
	2. 始良市総合戦略の基本目標3「子育てなら“あいら”」の推進について	<p>平成28年度の出生数が全国で初めて100万人を割り、97万人となった。国もこれを重く受けとめ、色々な施策を打ち出した。始良市にとっても例外ではない。そこで次について問う。</p> <p>(1) 始良市の出生数については、総合戦略効果検証の報告によれば、目標達成率が27年度Aランク、28年度Bランク（90～100パーセント）で良い結果を記録した。しかし、待機児童数では27年度Cランク、28年度ではDランク（70～80パーセント）となっている。これをどう評価し、対策を考えているか。</p> <p>(2) 待機児童解消には、まず受け入れる施設を増やすことが第一であると思われるが、同様に保育士の確保が大きな課題である。このことをどのように考えるか。</p> <p>(3) 父親の育休取得の現状について、市役所職員と一般企業についても分かる範囲で示せ。</p> <p>(4) 「子育てなら“あいら”」を唱えるのであれば、財政的に厳しいが、小・</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 自主防災組織について	<p>中学生の給食費無料化を実施する考えはないか。</p> <p>近年、地震・津波・噴火災害などが多発し、また風水害も繰り返し発生している。このような状況を止めることは難しいが、我々に出来ることは、被害をいかに少なくするか、すなわち減災への取り組みである。そこで次のことについて問う。</p> <p>(1) 始良市の自主防災組織の組織率は何パーセントか。</p> <p>(2) 1組織の単位は何人程度が良いと考えているか。</p>	市 長
2. 小山田邦弘	1. 観光政策について	<p>(1) 観光の現状について</p> <p>年間観光入込客数を示せ。これは、総合戦略のK P I (重要業績評価指標) の1つになっている。5年間の中間年にあたる今年、現状をどのように評価しているかを示せ。</p> <p>(2) 堂山地区の取り組みについて</p> <p>堂山地区でこの春実施されたレンゲの里プロジェクトは、地域おこしであるばかりでなく、観光事業としても大きな成果を上げている。市の観光政策での評価と今後の支援の考え方を示せ。</p> <p>(3) あいらフットパスについて</p> <p>観光協会が主体の「あいらフットパス」は、通年型の観光メニューで、しかもありのままのこのまちを楽しんでもらえるというユニークさがある。市の観光政策としてどのように評価しているか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 立地適正化計画について	<p>(1) 住民意見の反映の仕方について 立地適正化計画の策定にあたっては住民の声をいかに反映させるかが重要になってくるが、どのような手法で意見を集め、どのように計画の中に盛り込んでいく予定か。</p> <p>(2) 本市の特徴を生かした計画策定について 立地適正化計画を進めている他市をみると、多くがまちの中心部が空洞化することからこれを導入し、新たなまちづくりを進めているようである。 本市はこれと逆の様相もあるが、計画策定の中でこの特徴をどのように捉え、位置付けていくか。</p> <p>(3) 計画の実現について 立地適正化計画を策定後、国や県の支援策も多くは望めないと思われる。計画を実現していくための資金計画などはどのように考えているか。</p>	市 長
3. 峯下 洋	1. 屋外スポーツの場所の確保について	<p>健康維持のため、朝夕、屋内外等でスポーツやウォーキングをされている方々をよく見かける。朝の児童生徒の通学の見守りを終えてグラウンドゴルフに出かける方々、毎日の日課のように決まった時間にウォーキングをしながら子どもたちを見守っている方々である。歩くことは健康にとっても良く、健康寿命を延ばし、医療費の削減に寄与するといわれている。</p> <p>(1) グラウンドゴルフ競技人口は年々増加傾向にあるが、競技場の数は足りているか問う。</p> <p>(2) 中洲公園グラウンドが使えなくなると聞く。従来多くの方々がゲームを楽しんでいるが、代替地の候補は</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. コミュニティFMについて</p>	<p>あるか問う。</p> <p>(3) 現在、市が書類等の保管場所として元J Aの研修センターの建物を借りている。そこに立派なグラウンドがあり、以前はソフトボールの練習などで利用したことがあるが、現在は雑草が生え跡形もなく荒れている。そのグラウンドを整備して市民が利用できるようにできないか問う。</p> <p>(4) 帖佐中学校横の別府川沿いの河川敷をウォーキングロードやジョギングコース、グラウンドゴルフ場に活用できないか問う。</p> <p>(1) 受信状況が、地域によっては思わしくないとの声を聞く。防災無線の一端を担うとも聞いているが、受信状況をどの程度把握できているか問う。</p> <p>(2) 防災無線の代用として難聴地域に防災ラジオを配布することが予算化されているが、実施状況を問う。</p> <p>(3) 市のイベントや各種手続きの案内について、コミュニティFMの活用状況を問う。</p>	<p>市 長</p>
	<p>3. 松原なぎさ校区コミュニティについて</p>	<p>(1) 今年4月より、松原地区公民館が松原なぎさ校区コミュニティの指定管理になった。現在、「ひまわりハウス さくらじま」や「なぎさ未来塾」、「わいわい食堂」などを開催して、民生委員・児童委員の方をはじめ多くの方が地域活動に貢献している。先日6月3日も総勢80名程度の子どもたちが勉強や食事を楽しんでおり、とても微笑ましい光景であった。</p> <p>地域の輪が始良市全体に広がることを期待するが、このことについて、どのように捉え、どのように市全体に</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. 可燃ごみの減量について	<p>進めていくか問う。</p> <p>(2) 資源物ステーションも校区コミュニティに委託され、土日回収となったが、収集結果がどのように変わったか問う。</p> <p>(1) 以前、同僚議員からも質問があった「3010運動」については、現在、県も活発に取り組んでいる。市としての取り組みはどうなっているか問う。</p> <p>(2) その他、どのような可燃ごみ減量の取組みが行なわれているかを問う。</p>	市 長
4. 新福 愛子	<p>1. 庁舎・学校施設等における受動喫煙防止対策について</p> <p>2. 認知症対策について</p>	<p>5月31日は「世界禁煙デー」であり、5月31日から6月6日は禁煙週間となっている。</p> <p>本市においても健康増進課が中心となって禁煙に対する情報提供や啓発活動もなされたところであるが、今後の庁舎・学校施設等、公共の場における受動喫煙防止対策の取組みと課題を問う。</p> <p>過日、愛知県大府市にある国立長寿医療センターの研究班は、「軽度認知障害と判定されても悲観せず、運動や生活習慣を改善していけば約半数は回復した」との調査結果を報告し、近く米医学専門誌に発表することが報道された。</p> <p>早期発見・早期対応が大切といわれる認知症について次のことを問う。</p> <p>(1) 市ホームページに自己チェックの掲載、専門相談窓口の設置、かかりつけ医によるスクリーニング検査など、早期発見に繋げる環境整備をどう進めていくかを問う。</p> <p>(2) 認知症の正しい知識の普及・家族</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 北山地区の活性化について</p>	<p>支援のために認知症サポーター養成講座の受講者を、小・中学校の児童・生徒も対象に、具体的な数値目標を掲げながら市をあげて増やしていく考えはないか。</p> <p>(3) 認知症介護者家族交流会の充実を図れないか。</p> <p>(4) 高齢者が安心して免許証の返還ができるよう、バス回数券乗車券購入費または、電動アシスト自転車や自転車用ヘルメット購入費の一部補助を実施する考えはないか。</p> <p>(5) 徘徊高齢者等位置検索システム事業の導入を考えないか。</p> <p>昨年、初めての開催となった「北山地区スタンプラリー」や北山上自治会で取り組まれた「れんげの里プロジェクト」では、始良市観光協会主催の「あいらフットパス れんげの里コース」や「れんげまつり」が大成功を収めるなど、北山地区の活性化が確実に進んでいる。また、堂山地区交流拠点施設「えぼし館」も完成し、地域の方々にも大変喜ばれている。</p> <p>(1) 地域活性化に向けた今後の課題と支援策をどのように考えるか。</p> <p>(2) 危機的状況と言われている北山小学校の存続に向けたその後の取組みを問う。</p>	<p>市 長 教育委員長</p>
<p>5. 湯元 秀誠</p>	<p>1. 蒲生のクス保護対策は長期継続的にすべき</p>	<p>近年、「蒲生のクスの樹勢が衰えてきたのでは」と、専門家や市民の方々から聞く。</p> <p>今年度当初予算に「蒲生のクス保護増殖事業」1,098万円が計上された。</p> <p>(1) 今年度の保護増殖事業は過去の取</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>組みとの関連で行われるものなのか。本事業の具体的な内容を問う。</p> <p>平成6年に「蒲生のクス保全調査」に始まった事業であるが、今までの同事業への投入総額はいくらか。その成果は出ていると判断されているか。</p> <p>(2) 本事業は樹勢診断に基づいて実施されるのか。継続的に樹勢を見ている樹木医はいるか。</p> <p>樹勢回復には断根して、新たな毛根を出して養分の吸収を高める方法などがある。</p> <p>また、老木などの診断に不定根を出させて復活を診断する方法などがある。過去の回復事業で根回りを保護する観点から盛土や、木製のデッキ、柵を設置した経緯がある。盛土は、以前には大きくあらわになっていた根茎状態の上から2メートルほどの盛土をして樹勢回復を図る内容であった。</p> <p>20年ぐらいを経過した息の長い回復事業であるがその成果の検証や診断はどのような結果が出ているか問う。</p> <p>(3) 予算は保護増殖委託料であるが、長期的、継続性をもって取り組むべきである。定期的、日常的観察は必要と感じる。</p> <p>定期的には専門的知識などをもたれた方々のグループ、日常的には市民目線で観察していただく方々のボランティア団体の設置は考えられないか。</p> <p>(4) 推定樹齢1,500年の蒲生のクスの歩みを今世代で終わらせることは絶対あってはならない。</p> <p>市のシンボルであり、市民の宝物であり、誇りとする日本一の巨樹大クスを合理的な手法の委託業務だけで生命は守れるか。</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>青森県弘前市の弘前公園の桜は日本一と言われている。桜の管理は2人の樹木医で見守られているが、1人は市の公園緑地課の女性の樹木医である。</p> <p>本市には鹿児島県森林技術総合センター（旧林業試験場）もある。市で専門職のスペシャリストの育成は考えないか。</p> <p>(5) 国の天然記念物の大クスに関わる環境整備を含めた事業の扱いは神社の意向とどちらが優先するのか。</p> <p>神社との理解をしっかりと深めることもこの事業の円滑な執行につながる。神社との協議はどのようになされているか問う。</p>	

